解散合併寺院教化支援聞き取りシート（電話応対用）

教区　　組　　寺 （　　氏）	日　時：　　年　　月　　日 時　　分～　　時　　分 応対者：

1、解散に至った事情・心情について

※こちら側から聞きたいことを質問していくのではなく、相手の言葉に虚心坦懐に耳を傾ける。傾聴の心得（共感的理解など）について事前によく熟知するようつとめる。（枠外参照）

2、所属僧侶・寺族・門徒の有無

僧 侶　　☐ あり　／　☐ なし

寺 族　　☐ あり　／　☐ なし

門 徒　　☐ あり（軒数：　　軒）　／　☐ なし

3、責任役員総代選定届の有無について

☐ あり（任期＿＿＿年＿＿月＿＿日まで）

☐ なし（最終提出分の任期＿＿＿年＿＿月＿＿日）

4、所属門徒の移転先

☐ あり　／　☐ 想定しているところはある

5、財産の有無

☐ あり　／　☐ なし

6、御本尊の返納および移安先確認

☐ 済（☐ 本山　☐ 他寺院）　／　☐ 未

7、詳細聞き取りの可否

☐ 可　候補日 ①　＿＿月＿＿日 ②　＿＿月＿＿日 ③　＿＿月＿＿日

☐ 不可　教務所にて解散の手続きをすすめていく

共感的理解（Empathic understanding）とは「ただ聞く」ということではなく、相手に「寄り添う」プロセス、つまり「その人の立場に立って」「その人の目で世の中を見る」試みである。可能な限り自分の知覚、価値、意味、視点を脇に置く。自分自身の経験と照らし合わせたり、共通の意味を推測したりするのではなく、相手の視点で相手の経験を理解する必要があるということ。『パーソンセンタード・アプローチの最前線』より（取意）

解散合併寺院教化支援聞き取りシート（詳細聞き取り用）No.__

出席者：	場　所：
日　時：　　年　　月　　日　　時　　分～　　時　　分	記入者：

1、解散に至った事情・心情と寺院の状況について
（創建_____年（_____年間）・歴代___代）

2、所属僧侶・寺族・門徒について

3、責任役員・総代について
4、所属門徒の移転先について
5、財産について （土地･墓地／建物／仏具（具足･礼盤･卓）／建具（屏風･欄間･襖･木戸）／骨董類（壺･軸等））
6、解散にかかる経費について（事務手続き約 25 万円、建物撤去費用）
7、今後の教化支援について（要望・計画・方針） （門徒の引き継ぎ聞法会／解散法要／アルバム制作／帰敬式）

8、その他特記すべき事項 （行政書士の知己の有無などについて）